

“在V着”と“继续V下去”

—日本語との対照からみえる共通性—

原由起子

第43回中日理論言語研究会

同志社大学サテライト・オフィス

2015年10月18日

0. はじめに

本発表は“在V着”と“继续V下去”の共通性を日本語との対照をとおして明らかにしようとするものである。原由起子(2015)で“在V着(Vている)”の特性を叙述した際、その特性は、同じく融合型である“继续V下去(Vつづけていく)”、“开始V起来(Vはじめだす)”にも共通するのではないかと考えたことによりこのテーマで研究することになった。そのように考えた根拠は次のような例文にある。

- a) 人们继续追赶着，呐喊声渐渐远去。(曹文轩<小尾巴・第五只轮子>) 39)と同じ
人々は追いかけて続け、叫び声がしだいに遠ざかっていった。
- b) ある日庭で米を搗いているときに驟雨しゅううがあったので、たちまち臼うすと杵きねとを合わせて室内へ抱え込んで、平然と搗きつづけた。(三島由紀夫「奔馬」『豊饒の海(二)』
一天正在庭院捣米，忽然下起暴雨，于是立即连白带杵一起抱到屋里，接着又若无其事地继续捣起米来。(许金龙译<奔马>《丰饶之海(上)》) 43)と同じ

a)は、“继续V”と“V着”が融合し、b)は“继续V”が“V起来”と融合している。これだけを見ても、融合型が互いに関連していることが見て取れる。

本発表ではまず、“在V着”と“继续V下去”の共通性を見ていくことにする。

1. “在V着”

原由起子(2015)では“在V着について次のように述べている。(pp. 35)

“在V着”は“今(その時)”前後の持続を意識しながら、同時に特に“今(その時)”を視野の中に入れ、その焦点は“今(その時)”にある。その形成過程は次のとおりである。まず“V着”を時間の中で一定の長さのある事態の総体とみなし、その後でさらに動作過程を一つの点とみなす“在V”が表す出来事を見て、それを総体の中の部分とみなす。この特徴は“在V”とは異なる。“在V”が見ているのは“今(その時)前後の持続を遮断した“今(その時)”である。この特徴は、木村英樹(2014)で述べられている日中両言語の認知的な視点(perspective)の違いに由来する。当事者現場立脚型視点をとる日本語の“テイル/テイタ”を中国語に翻訳した“V着”の使用も中国語が傍観者俯瞰型視点をとることの影響を受けている。

話者が外は雪が降っていることに初めて気づいた時、日本語は「あっ、雪が降っている」と言い、「テイル」を用いるが、中国語は“下雪了”と“了”を用いて言うことに対して木村英樹(2014)(pp. 111-112)では次のように述べている。

……結論を先取りすれば、ここにも日本語の当事者立脚型視点と中国語の傍観者俯瞰型視点という対立を見て取ることができる。つまり、日本語話者は、現場に立脚する当事者の視点を以て眼前に起こる降雪という状況の真ただ中にわが身を置き、降りしきる雪とともに推移する〈いま〉—あるいは〈そのとき〉—の時間の流れ、すなわち継続という感覚を、まさしく「わが事」として体感的に捉えており、そのことが、現状を〈運動の継続〉として捉えるというカテゴリー化につながる。それに対して、中国語話者は、あたかも傍観者のごとき俯瞰的な視点を以て眼前の状況以前の状況を—すなわち降雪以前の状況—をも視野に入れ、それとの対比において降雪という眼前の状況を捉えており、そのことが、現状を〈変化の既存〉として捉えるというカテゴリー化につながる。

中国語話者は、非降雪と降雪という二つの異なる事態をそれぞれ丸ごと総括的 (summary) に捉え、その二つをともに射程内に収めつつ、一方から一方への〈変化〉として現実を捉えている。それに対して、日本語話者は、降雪という一つの事態が生起する現場にわが身を置き、事態の経過を順次的 (sequential) に体感し、あるいは観察している。明らかに前者の方が後者よりも視野が広く、巨視的もしくは俯瞰的であると言える。

ここで、上述の“在V着”の特徴を簡単に振り返っておく。

まず、“V着”が全体として捉えられていることは、“了”との共起から窺える。

1) 现在柴进差不多是惊愕地看着她了。(朱日亮<归去来兮>)

(今では柴進はほとんど驚愕して彼女を見ているようになった)

例1) の“了”は“了₂”で、木村英樹 (2014) で述べられているように、事態を総括的 (summary) に捉える。この“了₂”との共起は、非持続から持続への変化と捉え、“V着”自体を総体として捉えることができることを意味している。

さらに、“V着”は均質な線として捉えられ、“今(その時)”以前から“今(その時)”、“今(その時)”から“今(その時)”以降の持続を表し、動作の起点と終点を意識し、時間で区切ることができる。

2) 之后,卞大容就开始急切地等待着纪委来人—他们至少来调查调查。(池利<有了快感就喊>)(その後、卞大容は切に規律委員会が人をよこすのを待ち始めていた—彼らはすくなくとも調査にやって来るだろうと)

3) 这情景足足持续了十个小时,在这期间,那几个士兵始终举着枪瞄准他的脑袋。

(余华<往事与刑罚>)(この光景は優に10時間は続いた。その間、その数人の兵士はずっと銃をかまえて彼の頭を狙っていた)

例2) 動作の開始を表す“开始(～しはじめる)”と共起し、3)は、“足足持续了十个小时(優に10時間は続いた)”、“在这期间(その間)”、“始终(最初から最後まで/始終)”と共起している。このことは、“着”は動作の開始と終点を意識し、その時間を区切ることができることを表している。

“V着は、“今(その時)”以前から“今(その時)”までの持続も“今(その時)”から

“今（その時）”以降への持続も表せる

- 4) 彼らはいかにも幸福そうに見えた。みんなどこか特別な場所に向かって、何か楽しいことが待ち受けている場所に向かって歩を運んでいるようだった。（村上春樹『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』）

他们看上去似乎幸福无比。好像都在走向某个特别的地方，那儿有开心地事情正等着他们。（施小炜译《没有色彩的多崎作和他的巡礼之年》）

- 5) 「近いうちに結果を連絡できると思う」

「連絡を待っている。もし何か私にできそうなことがあったら、遠慮なく言って」

“我想用不了多久就能告诉结果。”

“我等着你的联系。如果有什么能帮上忙的，就跟我说。别客气。”（同上）

例4)は“今（その時）”以前から“今（その時）”までの持続を表し、例5)は“今（その時）”から“今（その時）”以降への持続を表している。

一方、“在V”は均質でない動作過程をひとつの点として見ている。次に示すとおりである。

- 6) 事实上, 那人全身都在肿大, 发烧。(须一瓜<蛇宫>)

実際は、その人は全身が腫れ上がり、発熱していた。

- 6') #事实上, 那人全身都肿大着, 发烧。

- 7) 晓菌几次抬头看他的时候, 他都在看晓菌。(同上)

晓菌が数回顔を上げて彼を見た時、彼はその度に晓菌を見ていた。

- 7') #晓菌几次抬头看他的时候, 他都看着晓菌。

- 8) 想想也是, 人嘛, 都在变, 老姨在变, 她把自个儿当成了皇后, 也就容不下别人了。

(孙惠芬《岸边的蜻蜓》)

そうだ。人というのは皆変わっているのだ。おばも変わっている。彼女は自分を皇后として、他のひとを受け入てなくなっている。

- 8') #想想也是, 人嘛, 都变着, 老姨变着, ……

例6)の“在”は結果補語を伴った“肿大(腫れ上がる)”と共起し、結果が出る前の変化の過程を描いている。例7)は“几次抬头看他的时候(数回顔を上げて彼を見た時)”と共起し、動作をひとつの点として捉えている。例8)の“在变(変わっている)”は例6)と同様に結果が出る前の変化の過程を捉えている。例6)～8)の“在V”を“V着”に置き換えた6')～8')は不自然である。

以上の例から“V着”は、中国語が傍観者俯瞰的視点を取り、事態を総括的(summary)に捉えることにより、“V着”を一つの総体とみなし“今(その時)”以前→“今(その時)”→“今(その時)”以降の継続を表し、一方“在V”はその部分として、均質でない動作過程をひとつの点として捉え、その前後の持続を遮断した“今(その時)”を表していると言える。従って両者の融合型である“在V着”は、“今(その時)”以前→“今(その時)”→“今(その時)”以降への持続を意識しながら、特に“今(その時)”を視野に入れている。

このことは、日本語が当事者現場立脚型視点を取り、順次的 (sequential) に体感的に捉えているため“V着”が“夕”に対応する場合があることから分かる。

9) 勲は昂奮のあまり頬に血が昇るのを感じたが、辛うじて自分を抑えた。そしてこう言った。(三島由紀夫「奔馬」『豊饒の海 (二)』)

因为过于兴奋,阿勋觉得热血涌上了脸颊。他极力压抑着自己,同时这样说到……

(许金龙译<奔马>《丰饶之海上》)

10) 沙羅は歩きながら興味深そうにつくるの顔を見た。「どんなこと？」

(村上春樹『色彩を持たない多崎つくると、その巡礼の年』)

沙罗边走边饶有兴味地望着作的脸。“是什么?(施小炜译《没有色彩的多崎作和他的巡礼之年》)

例9)、の日本語「辛うじて自分を抑えた」、「そしてこう言った」は順次的 (sequential) に、二つの独立した出来事として捉えていて、二つの単体である。これらに対応する中国語は、“他极力压抑着自己”と“同时这样说”の二つの出来事を総括的 (summary) に総体として捉え、その後ろの出来事は同時に事態の完結を表している。例10)の日本語は二つの独立したセンテンスで、やはり二つの単体である。そして後ろの会話文の前に「言う」という意味の動詞がない。これに対応する中国語の前件の動詞が“着”を伴い、前件と後件を合わせて総体とみなしている。ここにも日本語と中国語の視点の違いが反映し、例9)と同じことが言える。

2. “继续V”、“V下去”、“继续V下去”

原由起子・常次莉恵 (2013) (pp. 184-185) はこの三つの形式と対応する日本語の「Vつづける」、「Vていく」、「Vつづけていく」と比較対照し、以下の点を明らかにした。

中国語の“继续V”は telic の事態を描くことができ、中断、反復でき、過去→現在→未来の時間の流れのなかで、“今”継続を起動させることを表す。これに対して、日本語の「Vつづける」は、telic な事態を描き、中断、反復可能な「Vつづける_t」と、atelic な事態を描き、中断、反復できない「Vつづける_a」がある。前者は“继续V”に相当し、後者は“V下去”に相当する。中国語の“V下去”は、telic な事態を描くことができず、atelic な事態を描き、中断、反復できない。表面的には「Vていく」だけに対応するかに見えるが、実際には telic な事態を描き、中断、反復が可能な「Vていく_t」も、また atelic な事態を描き、中断、反復できない「Vていく_a」もある。しかし「Vていく_t」が“继续V”に対応していると断定することもできない。したがって「Vつづける_{t..a}」を中国語に翻訳するとき、“继续V下去”が多く用いられる。形式上、“继续V下去”は「Vつづけていく」に対応するはずであるが、調査の結果、その出現頻度は非常に低かった。

原由起子・常次莉恵 (2013) では、“继续V下去”について、telic でも atelic でもないとだけ述べ詳しく述べられていないため、本発表では、三つの形式の特徴を振り返りつつ、“继续V下去”の特徴を明らかにし、“在V着”との共通性を探っていきたい。

3. “继续 V”

“继续 V” が表す継続は中断、反復、再開でき、異なる二つの動作の連続にも用いることができる。このことから“继续 V”は“今（その時）”に焦点があり、“今（その時）”継続（という動作）を起動（継続の始まり）することを言い、その起動点として捉えている。

11) 车子已经开进上路 5 号大门, 停在前院的办公楼前。“继续开”, 陆所长吩咐老孙。(风语)
車はすでに 5 号門を入り、前庭の事務棟の前に止まったが、“前に進めて”と陸所長が孫さんに言った。(中断)

12) 还好, 他又继续往前溜达。(GB)
まだいい、彼はまた散歩し続けた。(反復)

13) 男はまたマスターと話を始めていた。(綾辻行人『人形館の殺人』)
男顧客继续和老板聊天。(櫻庭译《人偶馆事件》(再開))

14) コーン、と硬い音を響かせて、ボールは床に落下した。そしてそのまま、まっすぐ転っていく。(綾辻行人『迷路館の殺人』)
台球“咚”一声掉在地上, 又继续朝前滚去。(谭力译《迷宫馆事件》)(異なる二つの動作の連続)

15) 这天晚上在家里继续干的时候终于有了眉目。(DNA 之丸)
その家でやり続けていた時、ようやく目鼻がついた。“今（その時）” = 点
“继续 V”は“今（その時）”を点として捉えていることは、“今（その時）”以前→“今（その時）”と“今（その時）”→“今（その時）”以降への継続には他の要素が加わったり、他の言い方をすることからも分かる。

“今（その時）”以前→“今（その時）”の継続

16) 一方、達也と洋子は一年のときからずっと上位をキープし続けている。(東野圭吾「小さな故意の物語」『犯人のいない殺人の夜』)

另一方面, 达也和洋子则从高一时就一直保持着较为靠前的排名。(袁斌译<小小的恶作剧故事>《没有凶手的杀人夜》)

他に“坚持 V”、“持续 V”等が用いられている。

“今（その時）”→“今（その時）”以降への継続

17) ずるずるとすでに慣れ親しんだ悪夢を見つづけることを望むよわよわしく不安な自分を容認した。(大江健三郎『万延元年のフットボール』)

却容忍孱弱胆怯的自己希望继续做着已经拖拖拉拉的习惯熟悉的僵梦……(郑民钦译<万延元年足球队>《大江健三郎精品集》)

“この他、“一直要坚持三十年(30年間続けていかななくてはならない)等がある。

“着”は“今（その時）”以前→“今（その時）”の持続も“今（その時）”→“今（その時）”以降への持続も言える。

“继续 V”の以上のような特徴のうち、特に中断、反復、再開が可能であるということは、

継続の流れの中で継ぎ目があるということで、継続の開始もその終点も意識し得るため、“继续 V” は、継続の期間を特定するものと共起し、telic な事態を描くことができることに繋がる。

18) 冯俊指出, 中国城市化进程将在未来十年继续深化……(认识)

馮俊は、中国の都市化はこれからの 10 年進行しつづけるだろうと指摘した。

19) 中越边境继续流了十年血, 不是后遗症? (新语丝)

中国とベトナム国境で 10 年血が流されつづけて、後遺症じゃないとでも?

4. “V 下去”

“V 下去” は中断、反復、再開、二つの異なる動作の連続を表すのに用いることができず、“今 (その時)” を点として捉えてはいない。通常、切れ目が明確でない時間を表す語と共起し、atelic な事態を描くことができ、途切れることなく、一つの動作行為を展開を伴いながら継続していく。そのような継続を相対的に見れば線で捉えている。

11') # 车子已经开进上路 5 号大门, 停在前院的办公楼前。“开下去”, 陆所长吩咐老孙。(麦客<风语>) (中断)

車はすでに 5 号門を入り、前庭の事務棟の前に止まったが、“前に進めて” と陸所長が孫さんに言った。

12') # 还好, 他又往前溜达下去。(GB) (反復)

まだいい、彼はまた散歩し続けた。

13') 男はまたマスターと話を始めていた。(綾辻行人『人形館の殺人』)

男顧客と老板聊天下去。(櫻庭译《人偶馆事件》)(再開)

14') コーン、と硬い音を響かせて、ボールは床に落下した。そしてそのまま、勢いに任せてまっすぐ転がっていく。(綾辻行人『迷路館の殺人』)(異なる二つの動作の連続)

台球“咚”一声掉在地上, 又朝前滚下去。(谭力译《迷宫馆事件》)(異なる二つの動作の連続)

15') # 这天晚上在家里干下去的时候终于有了眉目。(DNA 之丸) (“今 (その時)” = 点)

その日家でやり続けていた時、ようやく目鼻がついた。

切れ目のない時間を表す語との共起

20) 一个人很难长时间装下去的。(forum)

人は長い間なりすますことはできない。

21) 进化论问题会长期争论下去的。(方舟子)

進化論の問題は長期間論争されていくだろう。

22) 因为他们可以无限分裂下去, 长生不老, 那就是一癌细胞。(方舟子)

それらは無限に分裂していくことができるので、不老不死である。それがすなわちが癌細胞である。

23) 回復の見込みがない病に冒されている事実を知らされ、創作の意欲も衰え、なおのらり

くらしと生きつづけるのは、私の主義には合わない。(綾辻行人『迷路館の殺人』)
既然知道自己得了不治之症，加上创作能力衰退，苟延残喘下去不符合我的原则。

(谭力译《迷宫馆事件》)

24) 从那个夜晚之后，我再也没有了绵绵不断、一直诉说下去的能力。(张炜<描花的日子>)

あの夜から、私はもう綿々と絶えることなく訴えていく力がなくなった。

“V 下去”は、継続の継ぎ目がないものとして捉えられているが、それでも継続の起点も終点も意識され得る。

25) 当他们都无话可说的那会儿，我就盯着满天的星星说了起来。我信口胡编一些故事，流利地、滔滔不绝地说下去。(张炜<描花的日子>) (“说了起来(話しだした)”と“今(その時)”以前が起点)

彼らが話すべき話題がない時、私は満点の星を見ながら話しだした。口から出るにまかせて物語を語り、流れるように、滔々と話していった。

26) 不知为何，我从没觉得卡车上的主人公光荣，我只觉得尴尬，这个人，老到从此不能工作了，只能待在家，一日日昏聩颓废下去。(刘汀<午饭吃什么>) (“从此(これから)”と“今(その時)”が起点)

なぜだか分からないが、私はそのトラックの上の主人公が光荣だと思ったことがない。私はただ、気まずく感じ、この人は、これから働けなくなるまでに老い、ただ家において、日々、だらだらと暮らしていただくだけだと思った。

27) 说到最后，干脆撂出一句狠话：“这么画下去，你一辈子也画不好。”(李铁<护林员的女人>)
最後に、きっぱりきついことを言い放った。“こんな風に描いていたら、一生いい絵なんて描けないよ」と。(“一辈子(一生)”と一生を終える時が終点)

28) 如果可以，他愿意在这里永远生活下去。乐乐呵呵生活下去，直到死。(王棵<我叫刘晓腊>)

もしできることなら、彼はここでいつまでも生活していきたいと思っている。死ぬまで楽しく暮らしていくのだ。“今(その時)”以前からの継続を前提に、“今(その時)”以降までの継続の終点)

29) 在一个地方出生的就在这地方生长下去，一直到死。(北京大学语料库 cc1)

あるところで生まれた者は死ぬまでずっとそこで成長していく。“一直到死(死ぬまでずっと)”生まれてから死ぬまでの起点と終点が意識されている。

30) 有的人挖了一半没见水，弃之；我只不过是始终挖下去，一直到见水为止。(同上)

ある人は半分まで掘っても水が出ないので、あきらめてしまった。私はただ最初から最後まで水が出るまで掘ったにすぎない。“始终(最初から最後まで)”と、最初から最後まで(=起点と終点)を意識していることが明らかである。例3)でも、時間を区切る語と共に用いられている。“始终”:表示从头到尾(现代汉语词典第6版)

“V 下去”は継続の継ぎ目が意識されていないので、区切りのある、特に短い時間を表す語とは共起しにくい、実際には起点も終点も意識され得るので、長いスパンの時間を表す

語とは共起している例がある。

18') # 冯俊指出, 中国城市化进程将在未来十年深化下去……(认识)

馮俊は、中国の都市化はこれからの十年進行し続けるだろうと指摘した。

19') # 中越边境流下去了十年血, 不是后遗症? (新语丝)

中国とベトナムの国境で十年血が流され続けて、後遺症じゃないとでも?

31) 这种天气持续下去, 五十年后地图上有没有英国呢?(新语丝)

このような気候が続いていけば、50年後地図に英国があるだろうか?

例29)のように“永远(ずっと)”と共起していても、“直到死(しぬまでずっと)”と終点を描くことができ、また例30)のように“始终(最初から最後まで)”と起点と終点が意識される語とも共起し得るのだから、“五十年后(50年後)”も“长期(長期間)”と同じように捉えられているとも言える。長いスパンの時間の継続には継続の継ぎ目との関わりが弱くなると考えられる。“V 下去”は、“今(その時)”以前→“今(その時)”の継続を前提とし、更に“今(その時)”→“今(その時)”以降への継続を描き、起点と終点が意識されているものとして描くことができると言える。

5. “继续V 下去”

“继续V”は“今(その時)”の継続の起動を表し、継続の継ぎ目があり、点として捉えることができる。それに対して“V 下去”は継続の切れ目がなく、継続を線で捉えている。しかし、継続の継ぎ目がないとはいえ、その起点と終点を意識し得るものであった。このことから“继续V 下去”は、傍観者俯瞰型視点をとり、先に線として捉える“V 下去”で総括的(summary)に事態を総体として見て、その後で、点として捉えることのできる“继续V”をその部分とし、“今(その時)”以前から“今(その時)”までの持続、“今(その時)”から“今(その時)”以降への継続を意識しながら、特に“今(その時)”を視野に入れ、そこに焦点があると言える。そしてそれは、“在V着”と共通している。但し、そこには、特に“V 下去”の性質による“继续V 下去”固有の特徴を有したうえで、なお背景に“在V着”と同質のものが透けて見えるものがあることは後述のとおりである。

“今(その時)”に焦点

32) ……只有她活着, 他这盘棋才继续下下去。(张子影<天亮之前>)

彼女が生きていてこそ、彼のこの勝負は続けていくことができるのだ。

(彼女は生きるか死ぬか、切迫した事態で、“今(その時)”に焦点)

33) 大家正等着他继续画下去哩, 他却已经放下了笔。(周大新<曲终人在>)

皆がまさに彼が描き続けていくのを待っていたのに彼は筆を置いてしまった。

(“正(まさに)”が示すとおり、まさに“今(その時)”が問題になっている。)

“今(その時)”に焦点が当たっているので、中断も反復もあり得る。

34) 老人的声音哽咽了。他平静了一会儿才继续说下去……(张炜<寻找鱼王>)

老人が声をつまらせた。彼はしばらく気持ちを落ち着けてから、ようやく話しつづけ

ていった。

(しばらく気持ちを落ち着ける間中断しているが、話の内容としては途切れていない)

- 35) 毛泽东邀请他们共进夜宵, 餐毕, 又继续谈下去, 一直到凌晨三点。(北京大学语料库 cc1)
毛沢東は彼らを招待して夜食を共にし、食事が終わってからも、また明け方3時まで話しつづけた。“又”が反復を表しているが、“餐毕(食事が終わる)”以前から“餐毕(食事が終わった)”時、そしてそれ以降の明け方3時までの継続をあらわしている)

“今(その時)”以前→“今(その時)”→“今(その時)”以降への継続の意識がある。

- 36) “犯人”は、母屋の戸のどれかの合鍵を持っている。とりあえずそう考えるとして……
(綾辻行人『人形館の殺人』)

“凶手”持有正房某处的钥匙, 继续推测下去……(櫻庭译《人偶馆事件》)

(日本語の“とりあえず”は暫時ということ、今(その時)に焦点があたっている)

- 36) の前に

- 37) “犯人”はどうやって蔵の中に入ったのか。

あれ以来、繰り返しその問題について考えてみるけれども、これという答えは出てこない。

“凶手”究竟是如何进入仓库的呢?

我反复考虑这个问题, 但得不出任何有价值的答案。(“今(その時)以前の開始)

- 36) の後に

- 38) あれこれ考えてみたものの、頭の中では結局、このようないくつかの可能性の組み合わせを検討するくらいしかなかった。

我再三考虑, 仍然没有任何突破性观点。(“今(その時)”)以降の終結)

以上の例から、“继续V下去”は、特に例29)、30)が示していたように、“今(その時)”→“今(その時)”→“今(その時)”以降の継続を、起点と終点のあるものとし、まず、その枠全体を総括的(summary)に総体として捉え、そのうえで、“继续V”がその部分として捉えられ、特に“今(その時)”に焦点をあてていることが分かる。これは“在V着”と共通している。“今(その時)”に焦点をあてていることは全く同じであるが、ただ、“继续V下去”固有の特徴として、“V下去”の特性から継続の起点と終点があるものとして捉え得るものでありながらも、その枠をことさらに明示する必要のない場合に用いられる、と思われる。“在V着”が総体の枠を実線に喩えるとすると、“继续V下去”のそれは破線に止まる。そのためか、区切られた時間を表す語と共起している例が収集した1523例のなかでは1例も見られなかった。ただし、例34)で示したとおり、終点の時点を表す語とは共起し得る。しかし、例28)で“V下去”と長いスパンの時間を表す“五十年后(50年後)”が共起していたように、長いスパン或いは長いスパンと感じている場合は共起する可能性があると考えられる。(このことは、原由起子・常次莉恵(2013)で、“继续V下去”はtelicでもatelicでもないとしたことと矛盾しないと思われる。)そのことは、次の例が逆に傍証となる。

- 39) 人们继续追赶着, 呐喊声渐渐远去。(曹文轩<小尾巴・第五只轮子>)

人々は追いかけて、叫び声がしだいに遠ざかっていった。

例 39) の後に

40) 大约过了两个多钟头，参与追赶的几个青羊村的村民，疲惫不堪地回到了青羊村。

およそ 2 時間あまりが過ぎ、追跡に加わっていた青羊村の村民は疲労困憊して青羊村に戻った。

例 39) と例 40) が示すとおり、“继续 V 着”は、“V 着”が telic の短い時間で区切れるため“两个多钟头（2 時間あまり）”と共起している。

中国語が傍観者俯瞰的視点に立ち、事態を総括的 (summary) に捉えていることは、既述のとおり①“今 (その時)”以前→“今 (その時)”への継続 (“V 着”)、②“今 (その時)”の継続の起動 (“继续 V”)、③“今 (その時)”→“今 (その時)”以降への継続 (“V 着”、“继续 V 着”)、④“今 (その時)”以前からの継続を前提とし、“今 (その時)”以前→“今 (その時)”以降への継続 (“V 下去”)、⑤“今 (その時)”→“今 (その時)”以降への継続を意識しながら“今 (その時)”の継続の用いられるが、それに対して日本語の“V つづける”は、①～⑤ 5 のいずれにも用いることが可能で、使用範囲が広い。“V つづける”の使用頻度が高いことから、“V していく”の使用頻度が相対的に低くなっている。なにより④の“继续 V 下去”に相当するはずの“V つづけていく”の出現頻度が非常に低いことが、傍観者俯瞰型視点ではなく、事態を総括的 (summary) にではなく、順次的 (sequential) に捉える当事者現場立脚型視点に立っていることが窺えるが、“V つづける”と“V していく”の棲み分けについては更に精査する必要がある。

6. “在 V 着”から“继续 V 下去”、そして“开始 V 起来”

“继续 V 下去”の“继续 V”が“今 (その時)”に焦点があるのは、“在”と排斥しあわず重複もせず共起するからも窺える。

41) 僕にとっていちばん大事なことは、自分が今も小説を書き続けているし…… (村上春樹『雑文集』)

对我来说最宝贵的，是自己至今仍在继续写小说…… (施小炜译《村上春树杂文集·无比芜杂的心绪》)

“继续 V 下去”の“下去”の位置には、事態を総括的 (summary) に見て、“今 (その時)”以前から“今 (その時)”以降への継続を表すものがくることは、“继续 V 完”から推察できる。“V 完”の“完”は“今 (その時)”以前を起点とし、“今 (その時)”以降を終点とすることを意識できる。

42) 他还停留在刚才的情绪上，他还要把话继续说完…… (林那北<龙舟>)

彼はまだ先ほどの気持ちのまま、なお引き続き話終えようとした……

この位置に“起来”が入れるということは、“开始 V 起来 (V 始めだす)”も“在 V 着”、“继续 V 下去”と同じ性質を具えていることを窺わせ、その性質は融合型に通底するものである可能性を示している。

43) ある日庭で米を搗いているときに驟雨しゅううがあったので、たちまち白うすと杵きねとを合わせて室内へ抱え込んで、平然と搗きつづけた。(三島由紀夫「奔馬」『豊饒の海(二)』)

一天正在庭院捣米，忽然下起暴雨，于是立即连白带杵一起抱到屋里，接着又若无其事地继续捣起米来。(许金龙译<奔马>《丰饶之海(上)》)

(参考文献)

陈平(1988)〈论现代汉语时间系统的三元结构〉，《中国语文》，第一期 P. 401-421。

郑懿德(1988)〈时间副词“在”的使用条件〉，《语法研究和探索》(四)，北京大学出版社，P. 229-235。

费春元(1992)〈说“着”〉，《语文研究》第2期，P. 18-28。

龚千炎(1995)《汉语的时相时制时态》，商务印书馆。

郭锐(1993)〈汉语动词过程结构〉，《中国语文》第6期，P. 410-419。

郭锐(1997)〈过程和非过程—汉语谓词性成分的两种外在时间类型〉，《中国语文》第3期，P162-175。

刘一之(2001)《北京话中的“着(·zhe)”字新探》，北京大学出版社。

刘宁生(1985)〈论“着”及其两个相关的动态范畴〉，《语言研究》第2期，P117-128。

李讷·石毓智(1997)〈论汉语体标记诞生的机制〉，《语言研究》第2期，P. 82-95。

马庆株(1992)《汉语动词和动词性结构》，背景语言学院出版社。

马希文(1987)〈北方方言里的“着”〉，《方言》第1期 P. 17-22。

木村英树(1983)〈关于补语性词尾“着/zhe”和“了/le”〉，《语文研究》第3期，P. 22-30。

徐丹(1992)〈汉语里的“在”与“着”〉，《中国语文》第6期，P. 453-461。

张黎(1996)〈“着”的语义分布及其语法意义〉，《语文研究》第1期 P. 6-12。

左思民(2003)〈论“(正)在”和“着”〉，《现代中国語研究》，第5期。

本多啓(2005)『アフォーダンスの認知意味論—生態心理学から見た文法現象』，東京大学出版会。

定延利之(2006)「心内情報の帰属と管理—現代日本語共通語「ている」のエビデンシャルな性質について」中川正之・定延利之(編)『言語に現れる「世間」と「世界」』、黒潮出版，P. 167-192。

定延利之・アンドレイ・マルチュコフ(2006)「エビデンシャルティと現代日本語の「ている」構文」中川正之・定延利之(編)『言語に現れる「世間」と「世界」』、黒潮出版，P153-166。

工藤真由美(1995)『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現—』，ひつじ書房。

宮崎清孝・上野直樹(1985)『認知科学選書1 視点』，東京大学出版会。

荒川清秀(1991)「中国語入門第5回テンスとアスペクト」，『中国語』8月号，P. 17-21。

菅谷有子(1996)「V-テイルに対応する中国語アスペクト」，『小出記念日本語教育研究会論文集』No. 5，P. 163-186。

- 金水敏・工藤真由美・沼田善子（2000）『時・否定と取り立て』,岩波書店。
- 井上優（2003）「「テンスの有無」と文法現象—日本語と中国語」,『時間表現・空間表現の意味の構造化に関する日本語と中国語の対照研究』,P. 87-102。
- 木村英樹（1982）「テンス・アスペクト中国語」,『講座日本語学 11 外国語との対照Ⅱ』,明治書院,P. 19-39。
- 木村英樹（2006）「「持続」・「完了」の視点を超えて—北京官話における「実存相」の提案」,『日本語文法』 6 卷 2 号,P. 45-61。
- 木村英樹（2014）「こと・ところ・ことば—現実を言葉にする「視点」」,『人文知 1 心と言葉の迷宮』(唐沢かおり/林徹底一編),東京大学出版会,P. 97-118。
- 平山久雄（1959）「北京語の「着」とその接尾する動詞について」,『中国語学』,P. 4-6。
- 彭飛（2006）「中国語と日本語の対照研究が抱える諸問題（6）—日本語の「動詞+テイル」構文と中国語の【“在”+動詞】【動詞+“着”】構文との相違及び【“在”+動詞】構文の基本用法をめぐって—」,『京都外国大学研究論叢』 LXV II 号,P. 131-153。
- 三宅登之（2005）「表示動態的“V 着”的实际使用情况」『言語情報学研究報告』 No. 7, P. 127-145。
- 寺村秀夫（1984）『日本語のシンタクスと意味Ⅱ』,くろしお出版。
- 松本正恵（1992）「「見ること」と文法研究」,『日本語学』 11-9, P. 57-71。
- 太田辰夫（1947）「北京語における“進行”と“持続”」『中国語雑誌』 2 卷 2 号・3 号。太田辰夫著（1995）『中国語文論集 語学篇・元雑劇篇』,汲古書院 10, P. 32-43。
- 丸尾誠（2007）「中国語の持続・進行表現に関する一考察—“V 着”と“在 V”の比較を通して—」名古屋大学国際言語文化研究科教育研究推進プロジェクト,P. 117-136。
- 王学群（2007）『中国語の“V 着”に関する研究』,白帝社。
- 武信彰（1978）「現代文学作品中の「伝達動詞+着」—「着」の側面観」『中国語学』 225 号,P. 48-53。
- 沢田啓二（1983）「‘在’小考—共起する成分との関連から—」,『伊知地善継・辻本春彦両教授退官記念 中国語学・文学論集』,東方書店,P. 439-464。
- 中川正之（1979）「「着-zhe」と「了-le」」,『アジア研究』 創刊号,広島大学総合科学部アジア研究講座,P. 59-67。
- 朱繼征（2000）『中国語の動相』,白帝社。
- 原由起子・常次莉恵（2012）「“继续 V”、“V 下去”与“继续 V 下去”」,『中国語文法研究』 2012 年卷,中国語文法研究会編集,朋友書店,P. 137-152。
- 原由起子・常次莉恵（2013）「“继续 V”、“V 下去”、“继续 V 下去”—从日中对比的角度再观其特征」『中国語文法研究』 2013 年卷,中国語文法研究会編集,朋友書店,P. 168-187。
- 原由起子（2015）「再论“再 V 着”—从日汉对比观察其特征」『中国語文法研究』 2015 年卷,中国語文法研究会編集,朋友書店,P. 19-41。
- C. E ヤーホントフ（1987）(橋本萬太郎訳)『中国語動詞の研究』,白帝社。

Comrie, B, 1976 *Aspect: An Introduction to the Study of Verbal Aspect and Related Problems*, Cambridge University Press.

Smith, C. S, 1994 Aspectual viewpoint and situation type in Mandarin Chinese. *Journal of East Linguistics* 3, 107-146.

(例文出典)

池利(2003)〈有了快感就喊〉,《人民文学》第1期。

须一瓜(2003)〈蛇宫〉,《人民文学》第2期。

余华(1995)〈往事与刑罚〉,《余华作品集》,中国社会科学出版社。

朱日亮(2003)〈归去来兮〉,《人民文学》第7期。

孙惠芬(2004)〈岸边的蜻蜓〉,《人民文学》第1期。

林那北(2010)〈龙舟〉,《人民文学》第3期。

麦客(2010)〈风语〉,《人民文学》第6期。

曹文轩(2014)〈小尾巴·第五只轮子〉,《人民文学》第6期。

张炜(2014)〈描花的日子〉,《人民文学》第6期。

李铁(2014)〈护林员的女人〉,《人民文学》第7期。

王棵(2015)〈我叫刘晓腊〉,《人民文学》第4期。

刘汀(2014)〈午饭吃什么〉,第7期。

周大新(2015)〈曲终人在〉,《人民文学》第4期。

张子影(2015)〈天亮之前〉,《人民文学》第6期。

綾辻行人(2009)『迷路館の殺人』新装改訂版,講談社。(谭力译(2013)《迷宫馆事件》,新星出版社。)

綾辻行人(2010)『人形館の殺人』新装改訂版,講談社。(櫻庭译(2013)《人偶馆事件》,新星出版社。)

大江健三郎(1998)『万延元年のフットボール』,講談社文芸文庫。(郑民钦译(2008)〈万延元年的足球队〉《大江健三郎精品集》,复旦大学出版社。)

東野圭吾(1994)「小さな故意の物語」『犯人のいない殺人の夜』,光文社。(袁斌译(2010)〈三島由紀夫(1997)「奔馬」,『豊饒の海(二)』,新潮文庫。(许金龙译〈奔马〉,《丰饶之海(上)》,北京燕山出版社,2000年)

小小的恶作剧故事〉《没有凶手的杀人夜》,人民文学出版社。)

村上春樹(2010)『村上春樹雜文集』,新潮社。(施小炜译(2013)《村上春树杂文集·无比芜杂的心绪》,南海出版公司。)

村上春樹(2013)『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』,文藝春秋。(施小炜译《没有色彩的多崎作和他的巡礼之年》,南海出版社,2013年)

新语丝

<http://renshi.people.com.cn/GB/14998807.html>

www.xys.org/forum/db/7/131/53/html

www.xys.org/xys/netters.Fang-Zhouzi/evolution/darwintrial12/txt

www.xys.org/xys/magazine/GB/2000/xys0012/txt

